



平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月5日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL <http://www.kawachem.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績 (平成24年12月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	2,955	△12.4	△24	—	△30	—	△13	—
24年11月期第2四半期	3,373	△4.9	73	△41.8	67	△44.9	53	△51.2

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 3百万円(△92.7%) 24年11月期第2四半期 50百万円(△56.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	△1.08	—
24年11月期第2四半期	4.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第2四半期	5,724	1,508	26.4
24年11月期	6,264	1,541	24.6

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 1,508百万円 24年11月期 1,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年11月期	—	0.00			
25年11月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想 (平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	△6.3	60	△58.2	50	△62.5	40	△51.4	3.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期2Q	12,200,000株	24年11月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	16,960株	24年11月期	16,412株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期2Q	12,183,040株	24年11月期2Q	12,183,931株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国経済においては個人消費が増加するとともに民間需要において回復がみられますが、中国をはじめとするアジア経済の成長率は低下し、欧州の経済は回復せず債務問題は長期化していることから、今後は穏やかな回復が期待されるものの、先行き不透明な状況が継続しています。

日本国内においては、昨秋以降の中国国内での日系自動車メーカーの減産影響により、中国やアジアを中心とした輸出は減速したものの、第1四半期に入り為替が円安に転じ、輸出や国内生産が底打ちしたことから、3月に入り、穏やかな回復傾向が見られました。

当社グループの関係する自動車業界では、3月に入っても国内自動車生産販売台数の前年対比での減少が継続した結果、自動車タイヤ・工業用品生産においても生産が減少しました。

販売面では、為替が円安に転じたことから輸出において販売に注力した結果売上を伸ばしましたが、国内自動車生産をはじめとする景気の回復は緩やかであり、全体では前年同期を下回る水準で推移しました。

原材料面では、ベンゼンやナフサ価格が上昇したこととあわせ、円安の進行により当社の購入する原材料価格が上昇しました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、急速に変化する市場・生産環境の変化に対応できるよう原材料調達先の確保や市場競争力を高めるための原材料のコストダウンを行い、生産体制や在庫の適正化をはじめとする生産合理化検討を進めました。販売においては、為替環境の変化や顧客動向に積極的に対応し、主力のゴム薬品、機能性化学品に注力した販売活動を行うとともに、新製品戦略の展開を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は29億55百万円（前年同期比12.4%減）、営業損失は24百万円（前年同期は73百万円の利益）、経常損失は30百万円（前年同期は67百万円の利益）、四半期純損失は13百万円（前年同期は53百万円の利益）となりました。

(部門別の概況)

<ゴム薬品>

国内の自動車生産は、昨秋以降の減産影響により、3月に入っても前年同期比で生産台数の減少状況が継続しました。この影響により、当社の主要顧客であるタイヤ・ゴム工業用品・合成ゴム生産が減少したことから、国内ゴム薬品の売上は前年同期比で減少しました。

輸出におきましては、東南アジアをはじめ中国において回復傾向がみられることや、主力商品の輸出に注力したこととあわせ、為替が円安に転じたことから売上は前年に比べ増加しました。

この結果、この部門合計の売上高は19億48百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、主要需要先である国内外のアクリル酸・アクリル酸エステル・ABS樹脂・MMA等の市況は回復基調であるものの、昨秋以降の国内アクリル酸生産の大幅減少の影響、ならびに、内外の競合先との国内競争が激化したことから、売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は3億25百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

<中間体>

界面活性剤中間体は顧客の生産が堅調に推移したことから売上を伸ばしましたが、染料中間体は品目によって増減があり、受注が伸びず売上を落としました。

農薬中間体は、一部品目の受注増減がありましたが、主要品目で受注を確保し全体として売上を伸ばしました。

医薬中間体機能性化学品においては一部品目の販売増加があったものの、主品目で顧客の需要が伸びず受注が大幅に減少したことから売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は2億92百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

〈その他〉

環境用薬剤は市場動向に合わせた生産対応を行った結果、売上は堅調に推移しました。潤滑油向け薬品は国内外市場の生産減の影響を受け、売上が減少しました。新規用途向け薬品は、品目により売上に増減があり、新規受注も獲得しましたが全体として売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は3億89百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては57億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億40百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1億14百万円、受取手形及び売掛金が2億67百万円、たな卸資産が1億9百万円減少したことによります。

負債につきましては42億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億85百万円、未払金が2億17百万円、退職給付引当金が82百万円減少したことによります。

純資産につきましては15億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が49百万円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億14百万円減少（前年同四半期は1億65百万円の増加）し、4億76百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、売上債権の減少、たな卸資産の減少等による資金の増加に対し、仕入債務の減少等による資金の減少により2億円の増加（前年同四半期は2億45百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出等により2億96百万円の減少（前年同四半期は1億58百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払等により24百万円の減少（前年同四半期は78百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月5日に公表いたしました平成25年11月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想を修正しております。詳細は、平成25年6月26日に公表いたしました「平成25年11月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	591,507	476,682
受取手形及び売掛金	2,127,080	1,860,077
商品及び製品	719,432	632,286
仕掛品	240,619	218,330
原材料及び貯蔵品	253,988	253,886
その他	24,631	22,220
貸倒引当金	△2,127	△1,860
流動資産合計	3,955,132	3,461,623
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	1,115,147	1,056,224
その他（純額）	909,857	884,808
有形固定資産合計	2,025,005	1,941,033
無形固定資産		
その他	8,246	8,803
無形固定資産合計	8,246	8,803
投資その他の資産		
その他	277,739	314,574
貸倒引当金	△1,513	△1,513
投資その他の資産合計	276,226	313,061
固定資産合計	2,309,478	2,262,898
資産合計	6,264,611	5,724,521
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,069,076	883,916
短期借入金	1,270,000	1,170,000
1年内返済予定の長期借入金	152,468	99,568
1年内償還予定の社債	600,000	600,000
未払金	387,281	170,248
未払法人税等	4,108	2,746
未払消費税等	—	16,554
役員賞与引当金	9,000	—
その他	182,692	147,166
流動負債合計	3,674,627	3,090,201
固定負債		
長期借入金	308,696	478,912
退職給付引当金	504,563	422,212
役員退職慰労引当金	68,000	62,732
その他	167,310	161,981
固定負債合計	1,048,570	1,125,838
負債合計	4,723,197	4,216,039

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	877,694	827,926
自己株式	△6,927	△6,981
株主資本合計	1,539,204	1,489,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	724	9,510
為替換算調整勘定	1,484	9,588
その他の包括利益累計額合計	2,209	19,099
純資産合計	1,541,414	1,508,481
負債純資産合計	6,264,611	5,724,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	3,373,947	2,955,757
売上原価	2,854,560	2,566,367
売上総利益	519,386	389,390
販売費及び一般管理費	445,743	413,933
営業利益又は営業損失(△)	73,642	△24,543
営業外収益		
受取利息	510	553
受取配当金	308	359
不動産賃貸料	4,126	4,126
受取保険金	2,971	1,609
貸倒引当金戻入額	34	267
その他	3,431	2,135
営業外収益合計	11,383	9,051
営業外費用		
支払利息	10,871	10,208
社債利息	2,357	2,344
その他	4,427	2,637
営業外費用合計	17,656	15,190
経常利益又は経常損失(△)	67,369	△30,682
特別利益		
災害保険金収入	15,895	—
特別利益合計	15,895	—
特別損失		
固定資産除却損	1,365	1,004
特別損失合計	1,365	1,004
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	81,898	△31,687
法人税、住民税及び事業税	620	620
法人税等調整額	27,730	△19,089
法人税等合計	28,350	△18,469
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	53,548	△13,217
四半期純利益又は四半期純損失(△)	53,548	△13,217

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	53,548	△13,217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,596	8,785
為替換算調整勘定	397	8,104
その他の包括利益合計	△3,199	16,890
四半期包括利益	50,348	3,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,348	3,672
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	81,898	△31,687
減価償却費	182,122	173,348
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34	△267
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,222	△82,350
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,200	△9,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,679	△5,267
受取利息及び受取配当金	△818	△913
為替差損益(△は益)	703	2,743
支払利息及び社債利息	13,228	12,552
固定資産除却損	1,365	1,004
売上債権の増減額(△は増加)	38,450	267,003
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70,139	109,536
仕入債務の増減額(△は減少)	54,677	△214,196
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,407	16,555
その他	△22,395	△26,123
小計	259,908	212,937
利息及び配当金の受取額	818	913
利息の支払額	△13,286	△12,448
法人税等の支払額	△1,556	△1,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	245,885	200,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△156,257	△289,867
無形固定資産の取得による支出	—	△1,590
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
従業員に対する貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	216	6,000
その他	△2,670	△9,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,712	△296,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△100,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△82,384	△82,684
リース債務の返済による支出	△3,123	△5,401
自己株式の取得による支出	△56	△54
配当金の支払額	△35,809	△36,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,625	△24,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	△305	5,361
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	165,492	△114,825
現金及び現金同等物の期首残高	214,691	591,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	380,184	476,682

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループにおいては、有機化学工業薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。